

点検・評価の結果

政府統計コード	00500217
基幹・一般の別(選択記入)	基幹統計調査
調査の名称	木材統計調査(基礎)
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他(「森林・林業基本法」(昭和39年7月9日制定)に基づく「森林・林業基本計画」(令和3年6月15日決定)の策定等に利用する「木材需給表」において、木材需給・供給量として利用)
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<div>☑ 1.調査の目的</div> <div>☑ 2.調査対象の範囲 ※</div> <div>☐ 3.報告者数等※<div>報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等</div></div> <div>☑ 4.報告事項とその基準期日 ※<div>報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間</div></div> <div>☑ 5.報告の方法 ※<div>報告を求めるために用いる方法</div></div> <div>☑ 6.報告を求める期間 ※</div> <div>☐ 7.集計事項 ※</div> <div>☐ 8.結果の公表方法及び期日 ※<div>調査結果の公表の方法及び期日</div></div> <div>☑ 9.使用する統計基準</div> <div>☑ 10.調査票情報の保存<div>調査票情報の保存期間及び保存責任者</div></div> <div>☑ 11.立入検査<div>基幹統計調査のみ</div></div>	<div>一部不整合あり</div>
-----------------------------	--	--------------------

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討（予定）している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 不整合の項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
	不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能)		対応方法 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
3. 報告を求める個人又は法人 その他の団体(報告者)の数等 ※	母集団情報 全数層・抽出層の設定 その他	抽出方法・抽出基準 ○ 対象数の算定	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し ○ その他	対応中/対応予定	標本リストの作成手順で誤りやすい部分は、ガイドラインに明確に手順を記載し、同じ誤りが起きないように業務引継ぎを確実に行う。
	特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 標本リストの作成誤りにより、調査計画上の調査対象数を上回った。				
7. 集計事項※	未集計 復元推計	未公表 ○ その他	○ 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し その他	対応中/対応予定	調査計画を変更し、「集計しない事項」として記載予定。
	特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 調査票の中に、審査には利用するものの集計していない調査項目があり、その取扱いを調査計画に記載していなかった。				
8. 調査結果の公表の方法及び 期日※	○ 公表実施時期 e-Statの掲載 その他	公表媒体 閲覧表	調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 実施方法の見直し ○ その他	対応中/対応予定	公表時期が遅延していることへの対応については、公表までの一つ一つのプロセスを適時、間違いなく行う。
	特記事項（○をつけた項目の概要を記載してください） 木材統計基礎調査について、数値の精査に時間を要し公表が遅延した。				

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

<p>業務マニュアル等の 整備・共有の状況 及び 実際の業務の実施状況 の確認等</p>	<ul style="list-style-type: none">■ 課題なし□ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）□ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）
--	---

③ 必要な精度の確保・向上の観点

1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
	<input type="radio"/> 達成精度 <input type="radio"/> 回収率・回答率 <input type="radio"/> 回収調査票数 <input type="radio"/> カバレッジ <input type="radio"/> その他 <input type="radio"/> 設定なし	(基礎調査) 都道府県別(集成材生産量は全国)に各指標項目の生産量等の8割をカバーする調査対象数とし、有効回答率は右記のとおり。 なお、製材工場、合単板工場、木材チップ工場及び集成材工場について、指標項目に対する目標精度は定めていないが、それぞれの指標項目に対する実績精度は右記のとおり。 CLT工場及びLVL工場については、全数調査のため実績精度を算出していない。 (製材月別調査) 目標精度(全国) 2.3% (合単板月別調査) ・合単板月別調査は、都道府県別に単板製造用素材入荷量、普通合板生産量、特殊合板生産量の85%をカバーするよう調査対象数を算出。回収率の目標は設定していない。	(基礎調査及び合単板月別調査) 目安としている指標は設定していない。 (製材月別調査) 平成17年調査	令和4年 (基礎調査) <有効回答率> ・製材工場 91.7% ・合単板工場 89.0% ・木材チップ工場 99.5% ・集成材工場 100.0% ・LVL工場 85.7% ・CLT工場 69.2% <実績精度> ・製材用素材消費量 0.5% ・単板製造用素材入荷量 2.3% ・製材品出荷量 0.8% ・普通合板生産量 1.3% ・特殊合板生産量 1.4% ・木材チップ生産量 1.6% ・集成材生産量 1.8% (製材月別調査) <実績精度> 1.8~2.6% (合単板月別調査) <有効回答率> 85.5~93.4%	令和3年 (基礎調査) <有効回答率> ・製材工場 87.4% ・合単板工場 81.0% ・木材チップ工場 98.5% ・集成材工場 94.9% ・LVL工場 100.0% ・CLT工場 100.0% <実績精度> ・製材用素材消費量 0.5% ・単板製造用素材入荷量 2.8% ・製材品出荷量 0.8% ・普通合板生産量 1.1% ・特殊合板生産量 2.4% ・木材チップ生産量 3.9% ・集成材生産量 3.4% (製材月別調査) <実績精度> 1.6~2.7% (合単板月別調査) <有効回答率> 100%	令和2年 (基礎調査) <有効回答率> ・製材工場 91.4% ・合単板工場 91.4% ・木材チップ工場 100.0% ・集成材工場 100.0% ・LVL工場 100.0% ・CLT工場 100.0% <実績精度> ・製材用素材消費量 0.5% ・単板製造用素材入荷量 1.1% ・製材品出荷量 0.6% ・普通合板生産量 0.7% ・特殊合板生産量 0.7% ・木材チップ生産量 1.4% ・集成材生産量 1.9% (製材月別調査) <実績精度> 1.7~2.5% (合単板月別調査) <有効回答率> 100%